



佐渡アーティストインレジデンス(SAIR)-佐渡無名異焼-の開催及び
多摩美術大学の学生が市長を表敬訪問します

佐渡市では、佐渡が誇る伝統的工芸品「佐渡無名異焼」をテーマとした滞在型アーティストインレジデンス(SAIR)プログラム 2026 を実施します。

本プログラムは、学生等が佐渡市内に滞在し、無名異焼の窯元から直接レクチャーを受けながら創作活動を行う、佐渡版滞在制作プログラム(アーティストインレジデンス※)です。

今回は多摩美術大学の学生等が参加し、このプログラムをとおり、佐渡と無名異焼の関係人口創出や後継者育成につなげること、また、参加者は制作技術だけでなく、佐渡の風土・歴史・文化に触れながら、伝統工芸の価値を現代的な視点で再解釈することを目的としています。

※アーティストインレジデンス(AIR)とは

アーティストが地域に“住み込み”で滞在し、制作や交流をする仕組みで、全国各地で様々なレジデンスプログラムが展開されています。

「佐渡アーティストインレジデンス(SAIR)プログラム 2026」

- 滞在日程 令和8年2月3日(火)～2月16日(月)
- 内 容 佐渡無名異焼の窯元におけるレクチャー及び創作活動
- 参加者 多摩美術大学より5名
- 参加窯元 永柳陶房、国三窯、北沢窯、数右工門窯、玉堂窯元、風の窯
協力:重要無形文化財保持者(人間国宝) 伊藤赤儘 氏

○プログラム報告会

本プログラムを通じた学生の学びや制作内容について報告を行います。

日時: 2月16日(月) 10:00～11:00

会場: 市役所本庁第1庁舎 2階 大会議室

○参加者による佐渡市長表敬訪問

プログラムの成果報告および、学生自身の視点から見た佐渡無名異焼や佐渡の魅力について、意見交換を行います。

日時: 2月16日(月) 13:30～14:00

会場: 市役所本庁第1庁舎 2階 応接室

※取材(滞在期間中も含む)を希望される場合は、事前に担当までご連絡をお願いします。

本件についての問い合わせ先

佐渡市役所地域振興部地域産業振興課

担当: 鍵谷・石黒

電話(直通)0259-67-7863

